大崎市社会福祉協議会発足によせて

社会福祉法人
大崎市社会福祉協議会
会長　森谷尚生

大崎市誕生から三ヵ月遅れましたが、七月一日大崎市社会福祉協議会が慎重な協議を経て合併し、スタートいたしました。傘下社協、夫々の五十有余年の歴史と輝かしい実績のうえに立って、多くの課題を乗り越え発足いたしました。

大崎市社会福祉協議会は会員数約四六、〇〇〇人、その面積は約八〇〇平方キロメートル、事業内容も従来各社協で進めてきた第二種地域福祉事業と併せ、第一種福祉事業としての特別養護老人ホーム等の運営も行います。全国でもあまり類を見ない職員数約六三〇人の大マンモス事業体として、大崎市における地域福祉の中核的役割を担って第一歩を踏み出したところであります。

この度、はからずも私が会長の重責を仰せつかりました。非力ではありますが関係皆様方のご指導ご支援をいただきながら、全力でその職責を果たす所存ですのでよろしくお願いいたします。

今、福祉をめぐる環境は、経済のグローバル化の中で地方の過疎化や、少子・高齢化の波が身近に迫っています。地域の再生、地域力が問われている中で、新社協は、我々の暮らす地域において、より安心で、健康で、生き甲斐ある生活が送れる地域であるよう福祉の面からサポートしてゆかねばなりません。

新社協がスタートして約二ヵ月、本所と七支所との連携を強化し、情報の共有を図りながら、地域福祉活動、福祉サービス活動の推進を図っているところではありますが、改めて社協の理念とする住民福祉の向上の志で、地域に根ざした福祉活動を基本に我々新社協役職員は意識改革を図り、連帯感、一体感を醸成しながら組織体制、事業実施体制、経営基盤の充実、強化を図ってまいります。

平成十八年度の事業展開にあたっては、年度途中のスタート故、旧社協がこれまで実施してきた事業を中心に進めるとしながらも、出来るだけ早い機会に広大な地域をカバーしてゆく事業のあり方を検討することにしていますが、これまで夫々の社協で進めてきた地域福祉事業、福祉サービスを低下させることなく、新たな地域福祉のパイオニアとしての成果を目指して努力いたす所存でありますので、皆様方の一層のご協力ご支援を心からお願い申し上げます。

役員・評議員紹介

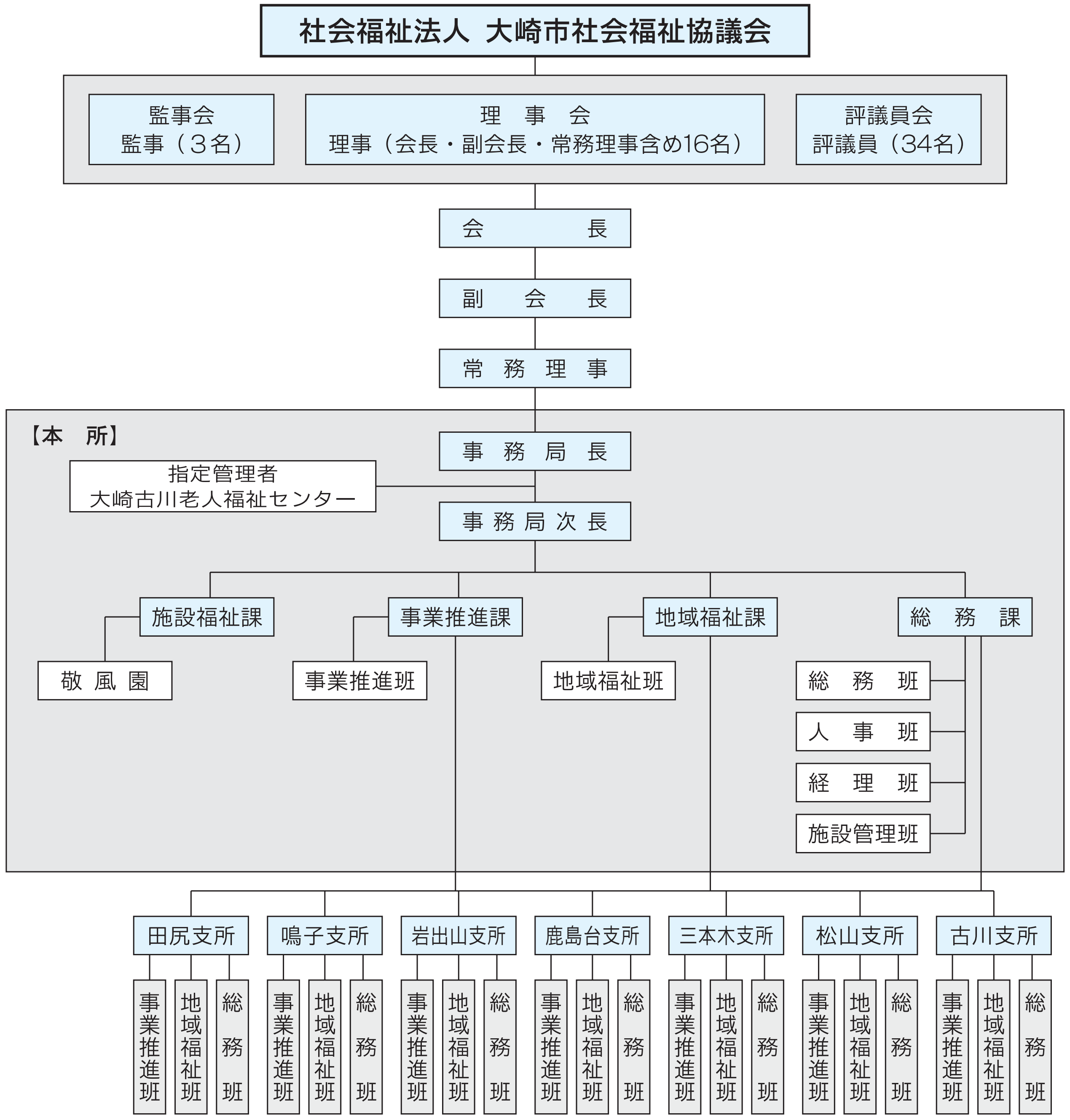
理事　十六名

会長（理事）　森谷　尚生（古川）
副会長（理事）　高橋　信夫（三本木）
　岸　順幸（岩出山）
常務理事　菅股　彰信（法人本部）
理事　後藤　孝幸（古川）
　藤田　勝（古川）
　佐藤　昭一（古川）
　福原　栄子（古川）
　岡野　豊彦（松山）
　中嶋米太郎（鹿島台）
　畑中理一郎（鹿島台）
　鹿野　孝（岩出山）
　高橋　喜一（鳴子）
　藤本　秀逸（田尻）
　相沢　広務（行政機関）
　鈴木貴美子（福祉団体）

監事　三名

監事　湯村　敏（古川）
　高橋　六郎（鹿島台）
　千葉　直司（田尻）

評議員　三十四名

評議員　佐々木紳司（古川）
　和久　雅芳（古川）
　木村　興堂（古川）
　笠原　良治（古川）
　西村　秩（古川）
　守屋たつ子（古川）
　伊藤　和夫（古川）
　三浦　喜一（古川）
　佐々木四郎男（古川）
　千葉　智司（古川）
　熊谷　和士（三本木）
　嶋田　忠（三本木）
　佐々木文幸（三本木）
　工藤　吉郎（三本木）
　畑中　敏亮（松山）
　佐藤　丹治（松山）
　中川　二郎（松山）
　大内　千里（松山）
　佐藤　守良（鹿島台）
　公平　弘司（鹿島台）
　林　直子（鹿島台）
　木村　一吉（鹿島台）
　高橋　幸悦（鳴子）
　中鉢和三郎（鳴子）
　梅原　徳雄（鳴子）
　大山　厚昭（鳴子）
　佐藤　昌満（岩出山）
　佐々木博子（岩出山）
　中川　矩雄（岩出山）
　亀井　長（岩出山）
　青木　洋朗（田尻）
　小金　信夫（田尻）
　富田　精耕（田尻）
　石崎　和一（田尻）

社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会 組織機構図